

## 「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

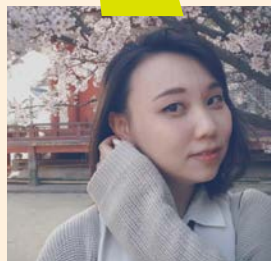
## HIC article: Lu Sizhi (China)

As an international student, I was worried about my life in Japan. I join the Global Relation Program (GRP) in October 2017. This program aims to facilitate international students to live at Hiroshima International Plaza for cultural sharing and experiencing the Japanese culture. As members of GRP, we can enjoy many convenient facilities here such as gym, library and cooking room. And the staffs of Hiroshima International Plaza always give us the best support.

At Hiroshima International Plaza we can make friends from different countries and experience the culture of different countries in our daily life. For example, when we cook in the kitchen, we can learn about the food culture of various countries. And Hiroshima International Plaza organizes cultural activities once a month to

introduce the traditional culture of Japan, and sometimes international students also have opportunities to participate in some local activities and communicate with Japanese people.

Now my life is very comfortable at Hiroshima International Plaza. Sometimes I will cook with other GRP member and share our food. Sometimes I will go to the ice cream vending machine on the first floor to buy ice cream and then eat with my friends. And when I was in a bad mood, I would knock on the door of my friend and chat with her about some things in life. I am very grateful to Hiroshima International Plaza for providing this program to international students, helping us to live in Hiroshima, also giving me many beautiful memories in Hiroshima. Thank you.



## グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは？

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、9ヶ国19人の留学生が参加しています。そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。  
★入居使用料  
1泊770円 管理費2,500円/月  
月額24,060円～26,370円(水道光熱費込み)  
★現在、今年秋からの入居者を募集中です。詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください

**スタート☆ひろしま!**

広島で生活を始めようとする海外の学生や来日後の留学生に対し、広島での留学生活が良好にスタートできるよう、広島での具体的な生活の情報を題材として、簡単な日本語による動画「スタートひろしま!」を平成30年4月からユーチューブ及びウェイボで配信しています。

動画は、音声日本語で、英語、中国語、ハングル語、ベトナム語4か国の字幕がそれぞれ入っています。日本に来てすぐにすることや銀行口座の開設の仕方、ごみ捨てルール、乗り物の乗り方など13テーマを作成しています。

YouTube  
Weibo

ユーチューブ: <https://www.youtube.com/channel/UCZuk9nZf0COsZyJxHg2YBLA>  
ウェイボ: <https://weibo.com/u/6517098831/>

**Live in Hiroshima**  
広島在住外国人生活情報サイト

県や市町の行政情報・生活関連情報、各種手続等を多言語（日本語のほか、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、ポルトガル語、フィリピン語）で一元的に情報発信する「Live in Hiroshima」が開設されました。外国人の方の利用をお待ちしています。

リンク先: <http://live-in.hiroshima-ic.or.jp>

## 交流部&amp;留学生活躍支援センター

〒730-0037  
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F  
TEL.(082) 541-3777 FAX.(082) 243-2001  
E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

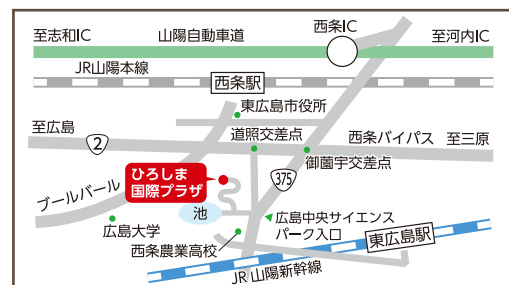
■開館時間  
月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00  
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



## 研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046  
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内  
TEL.(082) 421-5900 FAX.(082) 421-5751  
E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間  
(情報センター・図書室・NGO交流室) \*情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。  
月～土 10:30～19:00※  
日・祝日および年末年始はお休みです。



## HIC通信



## 目次

P2 サンフレッチェ広島特集

P5 事業報告

交流部

留学生活躍支援センター

P8 メキシコ選手団交流事業

P9 広島県外国人相談窓口の告知  
草の根国際協力基金開催

P10 コラム

Hello Hiroshima

イベント・講座案内

Upcoming Event News

P11 JICALレポート

こちら JICA デスク





※本文中のシーフェリペ シウバ選手

皆さんこんにちは。今日は、現在勝ち点 37 で 2 位と 9 ポイント差でリーグ戦首位を独走しているサンフレッチェ広島におじゃまし、フェリペ シウバ選手に、広島の印象や多文化共生の実情についてのお話をお伺いしたいと思います。

本日はお忙しい中、お時間をいただき有難うございました。お話を聞く前に、私たちひろしま国際センターについて、簡単に御紹介をさせていただきます。ひろしま国際センターは広島県をはじめ広島県内の市町と民間企業が共同で設立した団体です。広島県内に住んでおられる外国人の方たちへのサポートや、地域住民との積極的な交流を推進しています。

皆さんからお伺いした御意見を今後の活動に活かしていきたいと考えていますので、感じたことを率直にお話ください。

それではお話を聞いていきたいと思います。

——サンフレッチェ広島は、昨年は残留争いで最後までひやひやしましたが、今年はリーグ戦首位を独走しています。ルヴァン杯は、惜しくも後半 3 連敗でグループステージ敗退となりました。今シーズンのチームの戦いや御自身の調子について教えてください。

シ) 昨年はとても難しい厳しいシーズンでしたが、今年は J リーグでは良い結果が出ています。残念ながらルヴァン杯では敗退しましたが、今は J リーグにフォーカスして、集中していきたいと思っています。

——フェリペ シウバ選手は、正式なお名前はフェリペ・デ・オリベイラ・シウバとお聞きしていますが、フェリペがファーストネーム、シウバがファミリーネーム、オリベイラはどのような位置付けでしょうか。

シ) オリベイラは母の苗字で、シウバは父の苗字、フェリペが自分の名前です。

——ブラジルの方は皆さんこんな感じで名前をつけるのですか。シ) 親が決めます。自分はまだ短い方です。私の奥さんは結

婚して自分の名前にお父さん、お母さんと旦那(私)の名前も付きました。

——シウバという名前は、他のサッカー選手でもたくさんいますが、ブラジルでは一般的な名前ですか。

シ) シウバは一般的な名前ですが、結婚してからシウバを使いはじめ、それまではサッカー界ではフェリペ・オリベイラで通っていました。

——フェリペ シウバさんは、ブラジルのピラシカーバの御出身とお伺いしておりますが、ピラシカーバはどこなところですか。日本からどれくらい時間がかかりますか。

シ) ピラシカーバはサンパウロの田舎の方で人口は約 40 万人です。広島と似たような感じの街です。日本からはドイツ経由で約 24 時間です。とても近いですよ。(笑)

——フェリペ シウバ選手は昨年からサンフレッチェ広島に加入され 2 年目になりますが、サンフレッチェ広島に移籍が決まった時はどのようなお気持ちでしたか。

シ) とても嬉しかったです。以前にもインタビューで答えましたが、日本でプレーがしたかったし、ブラジルで日本の生活や文化の素晴らしさを聞いていたので、日本に行きたいと思っていたので夢が叶ったと思いました。

——日本や広島での生活には慣れましたか。

シ) 慣れました。

——ブラジル人選手はとても陽気なイメージなんですが、シウバ選手は私たち日本人のようにシャイな面があるように感じます。御自身の性格はどう思いますか。

シ) 普段一緒にいる人はわかると思いますが、冗談も良く言うし、ふざけたりもするけど、そうでない時は落ち着いて、余り目立たないようにしています。

——サンフレッチェ広島で仲の良い選手は誰ですか。その選手とは仲が良いのはなぜでしょう。その選手とはどんなことをして過ごしますか。

シ) チームメンバー全員と仲は良いと思います。この人は特にという人はいませんが、工藤選手とはよく食事に行っ

たり冗談を言ったりしていますし、水本選手や森崎選手ともよく冗談も言うけれど、相手はどう思っているかわかりませんが、皆と仲が良いと思っています。(笑)

——他の外国人選手(パトリック選手、ティーラシン選手)とはよく話をされますか。

シ) パトリック選手は同じブラジル人なので当然よく話します。ティーラシン選手ともチャンスがあれば通訳を通して皆で話をしています。

——パトリック選手、ティーラシン選手を一言で言うと、どんな選手ですか。

シ) ティーラシン選手(皆はムイと呼んでいる)は落ち着いた大人しい選手、パトリック選手は真剣で集中している選手です。

——フェリペ シウバ選手はゴールの決めポーズは、何かありますか。5 月 9 日のルヴァン杯ガンバ大阪戦のゴールのときには特にポーズはなかったようですが…。

シ) 今は神様に感謝する気持ちで、両手の人差し指を立てるポーズをしています。ただ、ブラジルではバク宙をしていました。ただ、奥さんや家族それに監督から「危ないからやめなさい、ケガするよ」と言われました。たくさんの人が言うぐらいだから、何か起きるかもしれないので止めました。

5 月 9 日の時にも神様にも感謝したし、指輪にキスして奥さんに感謝しましたし、たくさんのをしました。



(日本や広島の印象)

——試合やプライベートで初めて広島に来られたのは 2 年前ですか？

シ) 2008 年に来ています。

——広島街や人の印象を聞かせてください。

シ) ブラジルと全く逆だと思いました。例えば気候もですが車も逆の右側通行だし。それと最初に来た時はブラジルの U-19 代表の試合で来ましたが、有名な選手はいなかったけど日本の人が受け入れてくれた時の「Welcome」という気持ちが伝わってきて、それが素晴らしいかった。

——日本人のブラジルのイメージは、サッカー、サンバ、アマゾンなんですが、ブラジルの方にとって日本のイメージはどんなものでしょうか。

シ) 寿司とロボットと言うかテクノロジーが進んでいるイメージがありました。

——アニメのイメージはありませんか。

シ) 日本のアニメはたくさん見ました。特に子供の頃はドラゴンボールやポケモンをよく見ました。ブラジルでもかなり流行りました。

——日本や広島県に来て、一番驚かれたことは何ですか。また、日本や広島県について感心をしたこと、困ったことがありますか。

シ) 寒さです。私の町では寒くても 14℃でしたが、それでもブラジルの人は「寒い」と言っていました。前に所属していたクラブはブラジルの北の方にあつたので、年中暑かったので余計に寒く感じました。

——逆に暑さは大丈夫ですか。

シ) ブラジルでも日本の夏に似た場所がありますが、湿度が多いです。ただ、暑い方が慣れやすいです。寒いより暑い方が好きです。寒いと家の中から出たくないです。家の中で何か食べて映画でも見ます。

——吉田(安芸高田市)が寒いのではないですか。

シ) 勿論、吉田は寒いけど、広島も寒くて練習に慣れるまで大変でした。

——広島で感心(凄と思ったこと)したことはありますか？

シ) ブラジルでは税金を納めても、ちゃんと使っているのかわからないけど、広島(日本)では税金で道路が綺麗に整備されていたり、学校教育においても人に対するリスペクトや規律があり、街がきれいだったり、バスが時刻表どおりに来ます。文化を含めて人に対する思いやりがあることに感心しました。金銭面では誰でも生活レベルが高いと思います。ブラジルで日本のような生活をしようと思ったら、それなりの高い年収がないと難しいと思います。日本では皆が良い生活をするために、職に関係なくよく働いている。

安全面では、どこでも安全が確保されています。ブラジルでは場所によっては危険な場所があります。また、日本では午後 11 時を過ぎて外出しても、財布や携帯を持っていても誰も取りに来ませんが、ブラジルでは午後 11 時を超えると危ない。広島の印象がそうだけでも、恐らく日本全体もそうだと思います。

日本の方々の助けようとする気持ちや受け入れる気持ちが素晴らしいと、日本に来る前にブラジルにいる時から聞いていました。誠実な人が多いと思います。



(ブラジルと広島との関係)

——ブラジルには広島県人会もあり、広島県からブラジルへ移民された方が多くいらっしゃいます。ブラジルと広島県との深い関係は御存知ですか。以前知事もブラジル広島県人会創立 60 周年記念式典・祝賀会に行かれました。

シ) ブラジルの広島県人会のことは知らなかったです。

——広島には日系ブラジル人の方も多く生活されています。ブラジル人あるいは外国人の方にとって、広島は住みやすい街ですか？

シ) 日系ブラジル人の方とはこれまで 2 人も会っていません。恐らくほとんど吉田町にいるし、遠征も多いので会うことがないのでしょう。

(プライベート)

——休みの日には何をされていますか。

シ) 奥さんと一緒に出かけたり、レストランに行ったり旅行(東京、大阪、京都等)に行ったり、相手チームに友達がいるので会いに行ったりしています。短い休みの時は家で映画を見たりしています。

——買物や遊びに行く時は、誰かと一緒に行かれますか。

シ) いつも奥さんと一緒です。

——日本あるいは広島県で一番楽しいとか面白いと思った場所がありましたか。

シ) 広島にいる時は、皆で集まって食事に行ったり、音楽を聴いたりしています。

——皆で集まるのはレストラン等の外ですか。

シ) レストランでゆったり誰かの家でバーベキューをしたりしています。ブラジルでは仲間を集めてよくしていました。また、東京や大阪の観光地や京都のお寺を回ったりして楽しかったです。お勧めされた観光地は大体周ったので、今は友達と集まることが多いです。

——食事についてお聞きします。日本の食べ物はお好きですか。日本食で好きなもの、あるいは嫌いなものがありますか。

シ) 嫌いなものはほとんどありませんが、納豆はだめです。何度かトライしましたが匂いが強烈でだめです。お好み焼やたこ焼きは美味しいです。うどんも好きです。ラーメンはまだ食べたことがないです。

自宅の周りにはイタリアンレストランやフランス料理等の店がたくさんあるので、結局日本食よりもそっちに行ってしまうことが多いです。

ただ、遠征に行く前に空港でカツカレーをいつも食べますし、寿司も大好きです。

ブラジルにいる時はアイスコーヒーを飲んだことがなかったです。ブラジルではコーヒーはホットだけで、氷を入れると笑われます。最初に日本に来た時に皆おかしいのではないかと思います。今はアイスコーヒーを一番飲んでいます。

——日本語は喋れますか。何か漢字は書けますか。

シ) いつも同じような質問をされるのですが、質問された時一瞬頭から言葉が消えてしまいます。普段生活の中で使う言葉はたくさん知っているのですが・・・。

漢字は書けないけど「広島」の漢字を見たらわかるし、相手チームの漢字はわかります。後、車のナンバープレートを見て「同じ漢字だから広島だ」とわかります。

——日本について何か関心があること(例えば歴史、アニメ、スポーツなど)がありますか。

シ) この前大相撲を見ました。これまで集中してみたことがなかったけど、東京のホテルで見たら面白かったです。特に集中力が凄かったです。

また、昨日天気が良かったので奥さんと歩いてお祭りに行ったけど、家族連れや友達同士が浴衣を着たりしてとても幸せそうでした。その中を自分たちものんびりすることが出来て良かったです。

ブラジルではサッカーの選手は一般の人と一緒に歩いたりできません。サポーターやファンが熱狂的で、サインや写真撮影を求められゆっくりできません。

——広島での生活で不便なこと(交通、買い物、生活環境など)がありますか。言葉が通じない、外国語の標識がないなど不便なところもあると思いますが、こうしたら外国人の方が住みやすくなるという提案はありますか。

シ) 特にありません。取えて言うならレストランのメニューが全て英語表記があれば嬉しいです。ショッピングモールや道路標識にはローマ字表記があるので特に困りません。

逆に全てにポルトガル語の表記があると自分自身が努力しないで、いつまでたっても日本語を覚えないので、これぐらいが良いです。

——ワールドカップが始まりますがブラジルはどうでしょうか。また、日本はどうですか。

シ) ブラジルはしっかり準備ができていると思います。厳しいとは思いますが優勝できるチームの1つだと思います。日本は厳しい状況ですね。日本の入っているグループはとても難しいグループです。勿論日本を応援します。

——最後の広島の皆さん(ファン、サポーターを含め)にメッセージをお願いします。

シ) 今後も続けて応援をお願いします。昨年 J1 に残留できたのはサポーターの力 / 応援があったからこそだと思うし、今年も J1 で首位にいるのもサポーターの応援があるからこそだと思います。これからも我々に応援して力をください。



——ありがとうございました。今後の御活躍を期待しています。

## 交流部

### Report 1 能楽鑑賞を開催

5月28日(月)、日本文化理解促進事業の一環として「能楽鑑賞」を開催しました。

この企画は、(公財)ひろしん文化財団主催の「第28回青少年のための能楽鑑賞教室」にご招待いただき、毎年参加しているもので、今年も、広島県に在住の外国人及び関係日本人グループ、10カ国 計37名の方々と一緒に、能「土蜘蛛」と狂言「呼声」を鑑賞しました。

鑑賞前に能や狂言の楽しみ方や、あらずじ、能舞台の意味等についてお教えていただき、より理解を深めることができました。

また、鑑賞した外国人の方からも「迫力ある演技と音楽に感銘を受けた。」「もう一度見てみたい。」「素晴らしい日本の文化を体験する機会をいただき感謝します。」など称賛のお言葉をいただきました。



## 交流部

### Report 2 「平成30年度第1回 ひろしま多文化共生連絡協議会」を開催

5月25日(金)に「平成30年度第1回 ひろしま多文化共生連絡協議会」が開催されました。

この協議会は、県内における多文化共生の地域づくりを推進するため、外国籍県民の課題解決に向けた総合的・横断的な組織として、広島県主催により開催されています。

協議会には市町や関係機関の多文化共生担当者、計34名の方が参加され、広島県から外国籍県民の状況や多文化共生地域づくり支援事業について報告されたほか、広島労働局より「外国人雇用状況」の報告、安芸高田市より「第2次安芸高田市多文化共生推進プラン」の紹介がされました。

また、今年は「多文化共生の地域づくりに向けて～地域日本語教室の実情から見えてくること～」をテーマに講演会も開催されました。講演会では、ワールドカフェ形式のグループワークも行われ、多文化共生実現に向けた課題や取り組み、今後どのような「場」があると良いか等、活発な情報・意見交換を行うことができました。



## 留学生活躍支援センター

### Report 3 外国人留学生のインターンシップを実施します

広島県留学生活躍支援センターでは、外国人留学生のインターンシップの受入企業と参加留学生を現在募集しております。

インターンシップは、①就業体験コース ②1 dayインターンシップコース ③企業見学ツアーコースの3コースで実施します。興味のある企業の皆さま、外国人留学生の皆さまは、お気軽に当センターまでお問い合わせください。

詳細は、下記のwebサイトをご覧ください。

企業様向け>> <https://goo.gl/vf1XXr>

外国人留学生向け>> <https://goo.gl/ZKRjBJ>





## 交流部

## Report 4 平成29年度 外国人相談窓口運営事業の実績報告

ひろしま国際センターでは、広島県内に暮らす外国人の方々が、安心して暮らしていけるよう、平成18年度から「外国人相談窓口」を開設しています。現在この窓口では、在留資格や社会保険、労働問題の専門相談や暮らしに関する相談に応じ、英語・韓国語・フィリピン語の3言語で対応しています。

平成29年度の利用実績は、211人（23カ国）、232件でした（一人当たり複数の相談件数があるため、人数と件数は一致していません。＊下記表参照）。

国籍別にみると、日本人による相談が43%を占めました。日本人による主な相談は、外国人の受入れ、外国にルーツを持つ子どもの教育相談などでした。その他、中国、フィリピン、アメリカ、インド、韓国、ベトナム国籍の方の相談が次いでいます。相談内容の多くは、在留資格に関するものが69件、仕事・労働問題が31件、教育関係が29件、医療・福祉が20件、暮らしに関するものが20件、社会保険に関するものが15件となりました。

地域別では、広島市からの相談人数が118人、相談件数が130件で最も多く、次いで呉市の相談人数11人、相談件数が16件となり、県内市町合計で相談人数160人、相談件数が177件でした。対応言語別では、日本語が149人、英語33人、フィリピン語5人、韓国語2人でした。

平成29年度の傾向としては、在留資格の相談が前年比の76.7%となり減少しました。その要因としては、単純な在留資格の手続きについては、入国管理局のホームページが充実したことで自己解決ができるようになったと思われます。一方、当センターへの在留資格の相談は、自己解決が難しい複雑なケースとなっています。

また、今年度は医療通訳や多言語対応が可能な病院紹介に関する医療・福祉分野の相談が153.8%と増加しました。相談者は主に外国人本人や病院関係者で、医療通訳や病院における多言語対応のニーズが伺えます。その他、外国にルーツをもつ子どもの教育に関する相談が、3番目に多い相談分野として顕在化し、外国から呼び寄せた子どもの日本語教育、日本の学校への編入学、学習、進学、進路が喫緊の課題として浮き彫りになっています。今後、教育関係機関と地域の日本語教室ネットワークとの連携を強化し、問題解決に取り組む必要があります。

H29年度 相談者の国籍

| 国籍    | H29年度<br>相談人数 |
|-------|---------------|
| 日本    | 90            |
| 中国    | 27            |
| フィリピン | 16            |
| アメリカ  | 11            |
| インド   | 10            |
| 韓国    | 6             |
| ベトナム  | 6             |
| ブラジル  | 2             |
| 台湾    | 2             |
| その他   | 27            |
| 不明    | 14            |
| 計     | 211           |

H29年度 相談内容

| 相談内容  | H29年度<br>相談人数 | 主な内容                     |
|-------|---------------|--------------------------|
| 在留資格  | 69            | 在留資格の変更・更新、従業員の手続き、家族呼寄せ |
| 仕事・労働 | 31            | 外国人の雇用相談、就職相談、給与の未払い     |
| 社会保険  | 15            | 社会保険料の支払い、国民健康保険の未加入、年金  |
| 医療・福祉 | 20            | 多言語対応の病院紹介、医療通訳依頼、出産、保育所 |
| 結婚・国籍 | 9             | 結婚・離婚手続き、子どもの親権、国籍変更     |
| 教育    | 29            | 外国にルーツをもつ子どもの入学・進路、日本語教室 |
| 暮らし   | 20            | 役場での手続き（出産、確定申告）、地域の交流の場 |
| すまい   | 3             | 学生の下宿先、宿泊施設              |
| 人権    | 0             |                          |
| 事件・事故 | 9             | 労災認定、保証範囲、弁護士相談          |
| その他   | 27            | 弁護士相談、通訳・翻訳依頼、心の相談       |
| 計     | 232           |                          |



## 交流部

## Report 5 英語でおしゃべりしよう

5月25日にひろしま国際センターの交流ホールで「英語でおしゃべりしよう」という交流会を開催しました。今回は8名の皆さんと旅行をテーマに体験談を交えながら色々なお話を英語で楽しくおしゃべりをしました。皆さんの体験を聞かせていただける貴重な機会でした。参加者の皆さんが是非これからも英語の勉強を続けていただけると何よりです。

今後も同様の交流会を開催しますので興味がありましたら是非ご参加ください。



## 留学生活躍支援センター

## Report 6 2018年度 ひろしま留学大使の任命式を行いました

5月19日（土）・20日（日）にひろしま留学大使の任命式を行いました。

広島県内の10の学校、13の国・地域で構成された学生22名で活動していきます。

これから、広島の魅力や役立つ生活情報を世界中へどんどん発信していきます！

今後の大使の活躍を楽しみに、応援よろしくお願いします♪

## ひろしま留学大使

Facebook：https://www.facebook.com/hsaa2014

ウェブサイト：https://hsaa-studyabroad.jimdo.com/



Facebook



ウェブサイト



## お知らせ

## 県内文化施設優待カードからHiCISメンバーズカードへ変更について



当センターでは、留学生の皆さんの支援活動の一環として、広島県内の文化施設県内の70施設（美術館、博物館など）で入場料が割り引きされる「県内文化施設優待カード」を発行しています。今年4月よりこのカードのデザインを一新するとともに「広島県留学生活躍支援センター（HiCIS）」のメンバーズカードを兼ねることになりました。HiCISが開催する留学生の交流イベントや日本での就職活動の支援イベントなどの情報発信やイベントでの受付が簡単になります。

※旧カードをお持ちの方は、新カードへの切り替えをお願いします。



# メキシコ選手団と市民との交流

2年後に迫った東京オリンピックに向けた機運は徐々に高まってきています。こうした中、東広島市は、メキシコ選手団のゴルフ・レスリング・卓球競技の事前合宿地に選ばれ、このたび、レスリング選手団10名が、強化合宿のため、5月2日から5月16日までひろしま国際プラザ（東広島市鏡山3丁目）に宿泊し、東広島運動公園などでトレーニングや練習試合に励みました。

ひろしま国際センター研修部では、選手団の日本文化体験（2つ）と市民との交流プログラム（3つ）を担当しました。

## 浴衣の着付け体験

下駄の感触や歩いた時の軽やかな音が、特に気に入った様子でした。



## 書道

お手本をもとにして、それぞれ会心の作を書き上げました。



## 日本文化体験

## 地域住民との交流

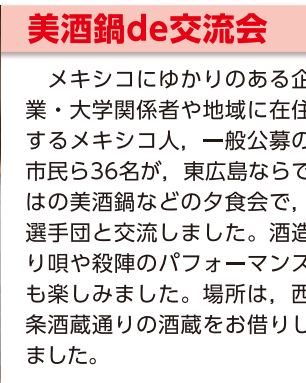
### みんなで焼こう！ タコス&お好み焼き

参加した市民21名は、今回、メキシコ・グアナファト州から来広したシェフにタコスの作り方を教わり、選手と一緒にのお好み焼きとタコスを作りながら交流しました。



### 美酒鍋de交流会

メキシコにゆかりのある企業・大学関係者や地域に在住するメキシコ人、一般公募の市民ら36名が、東広島ならではの美酒鍋などの夕食会で、選手団と交流しました。酒造り唄や殺陣のパフォーマンスも楽しめました。場所は、西条酒蔵通りの酒蔵をお借りしました。



### 国際交流 UNDOKAI

一般公募の市民40名と選手との混合チームが、赤組、白組に分かれて大運動会！ラジオ体操の後、大玉転がしやフラフープリレー、玉入れなど9種目に汗を流しました。最後は全員で盆踊りを踊りました。



## 広島県 外国人 相談 窓口

### Hiroshima Prefecture's Counseling Services for Foreign Residents



HICは広島県内で暮らす外国人の皆さまが、安心して暮らしていただけるよう「外国人相談窓口」を開設しています。この窓口では、在留資格や社会保険・労働問題などの専門的な相談や暮らしに関する相談を、フィリピン語・英語・韓国語・日本語の4か国語で提供しています。

どこで 相談することが できますか？  
公益財団法人 ひろしま国際センター  
広島市中区中町8-18  
広島クリスタルプラザ6F

電話番号は？  
フリーダイヤル 0120-783-806  
(電話の お金が かかりません)  
携帯電話・スマートフォン 082-541-3888

Where do we offer consultations?  
Hiroshima International Center(HIC)  
Nakamachi 8-18, Naka-ku, Hiroshima City  
Hiroshima Crystal Plaza 6th Fl.

What number do I call?  
Toll Free Number:0120-783-806  
Smart/Cell Number:082-541-3888



### 相談時間

| 区分                            | 相談時間                                | 言語                |
|-------------------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 情報相談（暮らしに関すること等）              | 月～金曜日 10：00～19：00<br>土曜日 9：30～18:00 | 日本語、英語            |
| 専門相談<br>在留資格（ビザ）<br>社会保険・労働問題 | 木曜日 10：00～12：00<br>13：00～16：00      | 日本語、英語、韓国語、フィリピン語 |

## 草の根国際協力助成金の 交付団体が決定しました。

県民や企業等の皆様からの寄付や「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクトの収益からの寄付を原資とする草の根国際協力助成金は、平成30年度は8団体に対し、合計5,971,500円を交付します。

### 【2018年度採択団体】

| 団体名                         | 内容                                                        |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 育担い事業<br>広島ベトナム平和友好協会       | ベトナムについての理解を深めるため、ベトナムに関する講座等の開催事業                        |
| フィリピン人労働者を支援する会             | 外国人の相談・日本語支援活動の実践者を育成するため、外国人労働者に関するセミナー等の開催事業            |
| 国際協力事業<br>特定非営利活動法人 日本パラオ協会 | パラオの生活習慣病予防のため、高校の給食改善のために必要な機器の整備事業                      |
| わらうすがた                      | カンボジアの体育教育向上のため、現地での体育講習会の開催や教員を日本に招き保健体育教育の研修の実施事業       |
| 特定非営利活動法人 IMAGINUS          | インドの路上で生活する女子児童の定住化を目指した親の所得向上プログラムとして、職業技術訓練センターの開設・運営事業 |
| 特定非営利活動法人 ピースウィングス・ジャパン     | 東ティモールの産業振興のため、コーヒーの品質管理体制強化による生産者の支援事業                   |
| 特定非営利活動法人 ESA               | ミャンマーの学校におけるトイレの劣化・不足を解消するため、トイレ・浄化槽の建設事業                 |
| 特定非営利活動法人 NGOひろしま           | カンボジアにおいて健診・感染症予防などの健康教育、スポーツ・絵画指導、教員養成校での口腔保健指導の実施事業     |



# Hello Hiroshima

Vol.101 July 2018



A New Hope  
Daniel Mackey

Hiroshima City is well-known in Japan and abroad as a city symbolizing peace due to its tragic past as a place that was utterly annihilated by an atomic bomb but, thanks to the resiliency and industriousness of its people, subsequently rebuilt itself from the ashes into the vibrant city that it is today. During my time here, I feel like I've become much more keenly aware of peace and nuclear-related issues affecting Asia and the rest of the world compared to when I was living in my quiet little corner of Canada. This awareness has made me realize the importance of educating youth on peace, which is already a cornerstone of education in Hiroshima, since it is they who will lead society forward in the future.

Hiroshima is rightly recognized for its role in promoting various peace initiatives that aim to increase understanding of the need to pursue peace toward the end goal of realizing a world free of nuclear weapons. But in actuality, there still unfortunately remains a large and not-easily-bridged gap between nuclear and non-nuclear weapon states when it comes to acknowledging and adhering to the NPT (Treaty on the Non-proliferation of Nuclear Weapons). This is why Hiroshima's efforts to promote peace remain so relevant today.

So with that being said, and on a slightly different note, I found it highly encouraging that North Korea recently made the surprise announcement that it is 'conditionally' willing to put a halt to its own nuclear weapons development program. As one of the greatest existential threats to Japan since it began developing and testing nuclear weapons, North Korea has been a persistent reminder of the volatile state of regional security in Northeast Asia. And recently, just when it seemed like the situation was reaching a new low point what with the threat, enabled by new missile technology, of a nuclear attack directed at the U.S. mainland, President Trump made the unprecedented move of agreeing to meet the leader of North Korea to negotiate for "complete, verifiable and irrevocable" denuclearization. What's more, it seems that President Trump also promised to address the complicated issue of Japanese nationals abducted by North Korea. I am cautiously optimistic that history may just be in the making here.

If such a long-standing situation could be diffused, it would represent a significant step in the right direction toward realizing global peace. I really hope that, against all odds, the upcoming negotiations are able to bear fruit and help to usher in the beginning of a new age of peace.

In the meantime, I would like to take this opportunity to wish everybody a great summer!

Upcoming

Event  
News



## 留学生日本語スピーチコンテストin広島2018

広島で学ぶ留学生による日本語スピーチコンテストです。事前に予約不要、無料でどなたでも入場できます。

みなさまお気軽にご来場ください。

日7月21日(土) 時13:30~15:40頃

場ひろしま国際センター交流ホール

定100名 費 不要

問 広島キワニスクラブ事務局 担当者:穂下 亜紀子

Tel:082-227-5315

mail:hkiwanis@crocus.ocn.ne.jp

## こちらJICAデスク



広島から世界へ!  
いつか世界を変える力になる!

広島から世界へ!2018年6月下旬より、  
広島県出身のJICAボランティア7名が世界へ向けて出発します!



## ■現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(名)

| 区 分   | 男性 | 女性 | 合計 |
|-------|----|----|----|
| 青年    | 18 | 22 | 40 |
| シニア   | 13 | 2  | 15 |
| 日系青年  | 0  | 1  | 1  |
| 日系シニア | 0  | 0  | 0  |

2018年4月30日時点

## JICAボランティア <青年海外協力隊とは?>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳~39歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティアです。派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、途上国の発展を支援する。そんな現場レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか!? 40歳~69歳の方を対象とした「シニア海外ボランティア」もあります。

## パラグアイ共和国

南アメリカ中央部に位置する共和制国家

【概要】面 積: 406,752平方キロメートル

人 口: 約6,350,000人

首 都: アスンシオン

公用語: スペイン語、グアラニー語

宗 教: 主にカトリック (90%), 信教の自由は憲法で保障

## 帰国隊員レポート ~パラグアイ篇~

恵木 徹さん

## 現地での活動内容

首都のアスンシオンからバスで7時間ほど南に行ったところにあるイタプア県で農業技師として、小規模酪農家の生活水準の向上を目標に技術支援を行いました。主な指導内容は、搾乳手順を含む搾乳衛生や飼料管理、繁殖管理です。しかし、日本の手法をパラグアイに適したものに切り替える必要があり、まずは農家の状況の把握から始まりました。そして、農家に対して出張講義を行い、酪農に対する情報を提供しました。また、パラグアイの大学や高校でも講義を行い、農家への関心や酪農の魅力について伝えていました。また、酪農が今後も発展していけるように、酪農の発展の展望を示したパンフレットを作り農家に配布しました。



▲中学生への酪農講義

## パラグアイってこんなところ!



▲マテ茶のセット

パラグアイにはマテと呼ばれるお茶をみんなで回し飲みする文化があります。これは、職場での休憩、家族との団らんなど知り合い同士ではもちろんのこと、散歩中の私のような外国人にさえ、声をかけてくれてマテを回す輪の中に入れてくれます。この文化があるためか、仲間意識が強く助け合いの精神が強いのです。また、パラグアイには多くの日系人が生活しています。そのため、様々なところで日本を感じられ、日本食も豊富に揃っています。パラグアイ人は日本人のことを尊敬しており、日本にとっても興味を持っています。南米の中で1番治安が良い国であるパラグアイを南米観光の拠点にすることをお勧めします。



▲パラグアイの友達

## パラグアイの食事

パラグアイの食事といえば肉です。焼肉のことをアサードと呼んでおり、骨つき肉を塩とハーブで味付けし炭火で4時間ほどかけてじっくりと焼きます。肉の脂がゆっくりと肉に浸透していき旨味成分が肉に凝縮されるため、非常に美味しいです。また、赤身の多い肉のため胃もたれする事なくどんどん食べられます。毎週日曜日はアサードの日であり家族や友達と一日中過ごします。果物は取り放題であり、マンゴーが道端に転がっています。パラグアイではマンゴーが異臭を放ち公害と認識されています。日本人からすると勿体ないです。



▲子羊の丸焼き



▲週末のBBQパラグアイ風

## 恵木 徹さん プロフィール

- ・福山市出身。
- ・北海道の大学を卒業後、同大学の大学院に進学。大学の制度を利用してJICAボランティア事業に参加。2016年7月より、パラグアイのイタプア県にて農業技師として活動する。現在、大学院に復学し南米の作物の飼料化について研究を行う。

## 参加のきっかけ

同大学ではJICAとの連携事業としてパラグアイの酪農家へ技術支援を行なっていることや、卒業論文で開発途上国の酪農について研究をしていたため、開発途上国の農業形態を実際に体験したいと思うようになり、JICAボランティアに参加しようと決意しました。

## 参加して思うこと

助け合うことの大切さや友達のありがたさを実感しました。何から始めたらいいか悩んでいると、パラグアイ人にとりあえず友達を増やそうと提案されました。そして、友達が酪農家や他の技術者を紹介してくれたため、活動がスムーズにできるようになりました。このパラグアイでの助けられた経験があるため、大学院に復学した今は留学生と積極的に友達になり、困った時に助けられるようにしています。